

ポリマーセメント系断面修復材 リフレモルセットSP

東・中・西日本高速道路株式会社「構造物施工管理要領」
吹付け工法・左官工法による断面修復の性能照査項目 合格
東京港埠頭株式会社「栈橋劣化調査・補修マニュアル」断面修復材の品質規格値 合格



各種資料DLページ

リフレモルセットSPとは

高機能性特殊粉末樹脂及び特殊短繊維をブレミックスしたポリマーセメント系断面修復材です。

リフレモルセットSPの特長

1. 簡便な練混ぜ作業
施工現場において、所定量の水と練り混ぜるだけで、安定したポリマーセメント系断面修復材が得られます。
2. 施工性
吹付け施工、左官施工が可能です。また、吹付け施工時のリバウンドやダレが少なく、天井面において最大約20mm、壁面において最大約30mmまで一度に施工でき、吹付け施工後の左官仕上げ性にも優れ、良好な仕上げ面が得られます。
3. ひび割れ抵抗性
特殊短繊維により、ひび割れ抵抗性に優れます。
4. 付着性
高機能特殊粉末樹脂により、優れた付着性が得られ、既設コンクリートとの一体化が図られます。
5. 耐久性
長期間にわたって安定した性能を発揮し、耐久性、耐候性に優れます。

断面修復工の施工環境管理

- ・施工時及び養生時の気温が5～40℃で、結露しない環境下にて施工を行ってください。
- ・施工後直射日光・強風・降雨を受けないよう配慮願います。
- ・5℃を下回ると考えられる場合はジェットヒーター等を用い作業場の雰囲気温度を上げてください。
- ・氷点下の気温が予想される場合は施工を中止してください。
- ・酷暑時には、練上がり温度が概ね35℃以下になるよう、練混ぜ水に冷水を用いる等の対策を講じてください。

取り扱い上の注意

- 不浸透性の保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面/防塵マスクを着用してください。
- 粉じん等を吸入しないでください。
- 取扱後は手、顔をよく洗ってください。
- 使用前にSDSを入手し、ご確認ください。
- 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないでください。
- 屋外または換気の良い場所でのみ使用してください。
- この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないでください。



荷姿：
25kg紙袋入り

※平成19年4月より「ライオンGRLC-SP」から製品名を変更いたしました。仕様・物性等は従来と変更ありません。
※荷姿は製造の都合等により予告無く変更する場合がありますので予めご了承下さい。

標準配合

配合	リフレモルセットSP	水	練上がり量
1m ³	1875 kg (75袋)	300 kg (285～315 kg)	約1000 ㍓
1袋	25 kg (1袋)	4.0 kg (3.8～4.2 kg)	約13.5 ㍓

物性値の一例

項目	材齢	試験値	試験方法
単位容積質量 (kg/㍓)	—	2.15	JIS A 1171に準拠
凝結時間	20℃	—	始発 2 : 20 終結 2 : 50
圧縮強度 (N/mm ²)	20℃	1日 23.7 7日 48.4 28日 59.9	JIS R 5201を参考
曲げ強度 (N/mm ²)	20℃	1日 4.6 7日 6.6 28日 8.5	JIS R 5201を参考
付着強度 (N/mm ²)	20℃	7日 2.2 28日 2.5	建研式簡易引張試験装置
長さ変化率 (%)	20℃	28日 -4.6×10^{-4}	JIS A 1129に準拠 (翌日脱型基長, 20℃ 60%RH気中養生)
表面水分率 (%)	20℃	1日 8.5 7日 6.0 28日 5.3	高周波容量式水分計 (歩道板20mmに塗布, 20℃90%RH.湿空養生)
促進中性化 (比較コンクリート※1) 13週 15.3mm 26週 19.5mm	20℃	13週 0.0 26週 0.0	JIS A 1171に準拠

※上記のデータは代表値であり、品質保証値ではありません。
※1 W/C=55%の普通コンクリートでの試験結果例

施工方法

下地処理

1. 下地コンクリートの浮き、脆弱部、レイタンス、油類などを除去します。
 2. 鉄筋部分は錆を落とし、防錆材などによる防錆処理(※1)を行います。
 3. 下地コンクリートを十分に水洗いしてください。水洗いが不可能な場合は下地をエアブロー等で良く清掃してください。
当社製品「リフレトリート(推奨品)」(※2)によるプライマー処理を行ってください。
- (※1) 当社製品「α防錆ペースト」「リフレ防錆コートZN」をお勧めします。
(※2) 他のプライマーを用いる場合は、別途お問い合わせください。

材料の練り混ぜ

- 配合表を目安にモルタルミキサーを用い3分間以上練り混ぜします。
- ※外気温、水温、練上がり温度、湿度等により、可使用時間、施工性が変わるため、施工性の確認を行いながら、規定水量の範囲内で練混ぜ水量を調整します。
※練上がった材料は30~45分以内に使い切ってください。

施工

1. リフレトリートの指触乾燥を確認してください。
2. 左官によるコテ塗りを行う場合は3~5mm厚みでしごき塗りを行い、追っかけて10mm程度の塗り厚で塗り上げてください。塗り厚が15mm以上の場合は先に塗り付けた材料がしまってから塗り重ねてください。
3. モルタルポンプによる吹付けを行う場合、一度に可能な最大施工厚さは壁面で約30mm、天井面で約20mmです。これを超える場合は数回に分けて施工してください。

打ち継ぎ

リフレモルセットSPの打ち継ぎ間隔は前層の指触硬化(しまり)を目安としてください。

■リフレモルセットSPの打ち継ぎ間隔の目安

冬期	標準	夏期
外気温5~15℃	外気温16~25℃	外気温26℃以上
4~6時間以上	2~3時間以上	2時間以上~

打ち継ぎ時の下地表面は、木ゴテ等による適度な凹凸面または吹放し面を基本として、処理方法は状況に応じて以下のように行ってください。

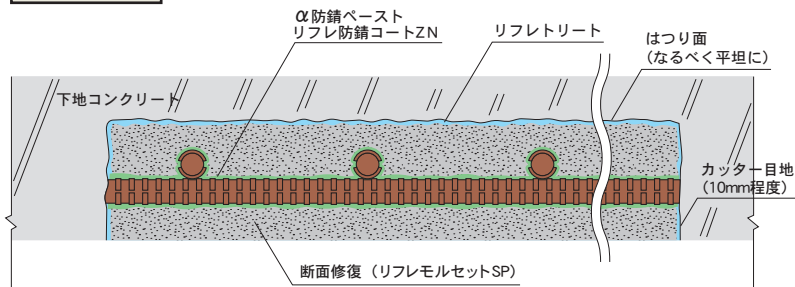
タイミング	打ち継ぎ面への処理
指触硬化の確認	連続的に施工が可能な場合、基本的にはそのまま施工してください。湿潤状態が失われている場合には適宜水湿しを行ってください。余剰水は拭き取る等して除去してください。
過度に乾燥した場合(※1)	リフレトリートを塗布量100g/m ² を目安に噴霧器等を用いて塗布してください。噴霧されたリフレトリートが指触乾燥後に打ち継ぎを行ってください。

(※1) 指触硬化のタイミングからある程度時間(4時間)が経過した後など。

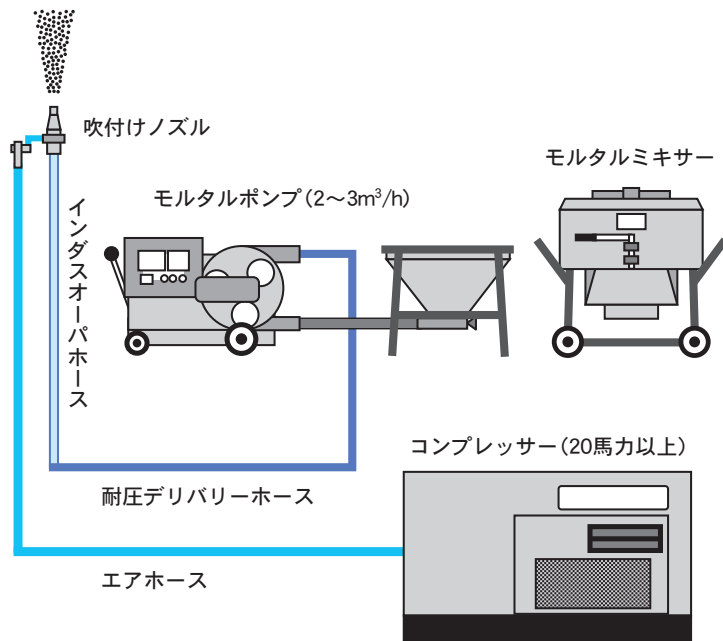
養生

施工後は、直射日光・風・降雨等が当たらないようにシート養生等を行ってください。また、寒冷時には、保温養生を行ってください。

標準施工図



吹付け装置の一例



リフレモルセットSPα工法(亜硝酸リチウム混和配合例)

配合	亜硝酸リチウム含有量 kg/m ³ ・固形分	単位量 (kg)			練上がり量
		リフレモルセットSP	リフレα40	水	
1m ³	55	1824(約73袋)	137.5	210 (195~225)	約1000ℓ
1袋		25(1袋)	1.884	2.870 (2.670~3.080)	約13.7ℓ

本カタログの記載内容については、予告無しに変更する場合がありますので、予め御了承願います。

住友大阪セメント株式会社 建材事業部

- 東京 105-8641 東京都港区東新橋1-9-2(汐留住友ビル20F)
大阪 530-0004 大阪市北区堂島浜1-4-4(アクア堂島東館15F)
名古屋 450-0003 名古屋市中村区名駅南2-14-19(住友生命名古屋ビル3F)
札幌支店 060-0003 札幌市中央区北3条西2-10-2(札幌HSビル10F)
東北支店 980-6003 仙台市青葉区中央4-6-1(SS30ビル3F)
北陸支店 920-0849 金沢市堀川新町2-1(井門金沢ビル7F)
四国支店 760-0033 高松市丸の内4-4(四国通商ビル6F)
広島支店 732-0827 広島市南区福荷町4-1(広島福荷町NKビル7F)
福岡支店 812-0011 福岡市博多区博多駅前1-2-5(紙与博多ビル8F)

- 電話 03(6370)2721 Fax 03(6370)2759
電話 06(6342)7704 Fax 06(6342)7708
電話 052(566)3202 Fax 052(566)3273
電話 011(241)3901 Fax 011(221)1017
電話 022(225)5251 Fax 022(266)2516
電話 076(223)1505 Fax 076(223)0193
電話 087(851)6330 Fax 087(822)6870
電話 082(577)7645 Fax 082(577)7646
電話 092(481)0186 Fax 092(471)0530

本製品に関するお問い合わせ・ご用命は